

● 永田 和 宏 選

今日もまたルールブックは俺だよとオウンゴールも気にせず蹴り込む(加須市)坂入やすのり
 ☆付度のパスと恭順のアシストで無人のゴールを揺らすトランプ (札幌市) 田巻 成男
 カボベルデ首都はプライアディアスポラ知らないことはまだまだあつて(長野市) 祢津 信子
 ドアノブがガチャッと鳴ったら秒速でふとんに戻って寝たふりをする(奈良市) 山添 聡介
 ☆つまづきもよろめきさへもカウンントし歩数計
 二万京都を歩く (長野県) 千葉 俊彦
 申し訳ございませんの二拍前 交換嬢の吐息聞きをり (宝塚市) 田中 威至
 波洗ふ長崎鼻の燈台にはまひるがほは海を向き咲く (横浜市) 白川 修
 笑ったりしんみりしたり結婚式終わった夜の寿司屋の家族 (富山市) 松田由紀子
 ハメネイ師の葬儀の列の人びとは男女分かれてそれぞれ歩む (八尾市) 水野 一也
 内容は忘れたけれど君と観たことは覚えてい
 るあの映画 (所沢市) 白河 清

【評】トランプの横暴に呆れる歌が多い。一首目、確かにオウンゴールに近いが、二首目の付度と恭順はアメリカに限らずわが国でもしっかり見逃さないようにしたい。祢津さんだけでなく、ほとんどの人はこの小さな国の存在さえ知らなかった。

◆ 川 野 里 子 選

花火の音が響けば大きき想われて見えない恐怖を生んでいる国 (アメリカ) ダンバー悦子
 大雨に冠水したる車から断末魔のごと鳴るクラクション (奈良市) 山添 聖子
 永遠に一步もそこを出られないとまれの人も
 すすめの人も (横浜市) 富尾 大地
 鼻水に床の汚れに口周り、テーブル、お尻、
 「拭く」は子育て(ひたちなか市) 安澤 美幸
 内陸の市民プールに潮風が嫉妬するほど本物の青 (さいたま市) 月並 変哲
 セルフレジ「お金を入れてください」と家出した子の声に似ている (日田市) 石井かおり
 悪事から足洗うこと指洗う禁煙をする初孫生まれ (日南市) 宮田 隆雄
 土曜日もダンプ五台が発す地球を剥がしどこかへ運ぶ (岐阜市) 後藤 進
 転んでも大怪我しないこと二回なせ救いたもうこんな私を (伊勢崎市) 小林 智美
 英語教師数字の六をセックスと高らかに読み
 男子ざわめく (草津市) 今川 貞夫

【評】一首目、花火の音も爆弾の音に聞こえる今のアメリカ。二首目、車に命が宿るような迫力だ。三首目、信号の中の人^{かな}は哀しい。五首目、慣れ親しんだ市民プールの青こそ本物だ。六首目、セルフレジの妙にきっぱりとした声に感じとる孤独。

有効期限 令和 9 年 7 月 31 日

性別 男

医療広域連合



1号